

東京・銀座に”品格“を与える銅製品 並木通りをそぞろ歩く――

銀座にゲームセンター、カラオケ店、パチンコ店、ファーストフード店はほとんどない。ここは、そう大人の街なのだ。今や高級商店街として日本のみならず、GINNAの名は世界に知られている。近年、ブランド店が次々とオープンした別名「ブランド通り」とも言われる並木通りをそぞろ歩くと、そこには大人の雰囲気や否が応にも高める銅製品の数々があつた。

COACH, VALENTINO, CELINE, CHANEL, LOUIS VUITTON...多くのブランド店が軒を並べる。最先端のファッションの街と言われる新宿や渋谷にはない”品格“をどこかに感じさせる。銀座通り（中央通り）から北へ三本目、並木通りの五丁目から西端の八丁目にかけて、およそ通りの半分、約三〇〇メートルを歩いてみる。

高さ一メートルほどの銅句碑にぶつかると。「京橋の瀧山町の新聞社 灯ともる頃のいそがしさかな 啄木」とある。明治の頃には、ほとんどの新聞社が銀座に拠を構えていたという。情報の中心地でもあったのだ。時代とともに新聞社も周辺に移り、その跡は瀟洒な商業ビルへと変貌した。ハイグレードな店舗群を彩るのは個性ゆたかに店の顔をつくり上げる銅製ショップフロント。店前にはデザイン性あふれるスタンドサイン。通りの個性を主張する銅製街路灯。その他さまざまな趣の銅製品が溢れている。百聞は一見にしかず、とか。銀座・並木通りを彩る銅製品をしかとご覧あれ。

並木通りを楽しく 彩る各種銅製品



環境に合わせたさまざまなデザインの銅製消火栓



街路灯に設置された通りのネームプレート

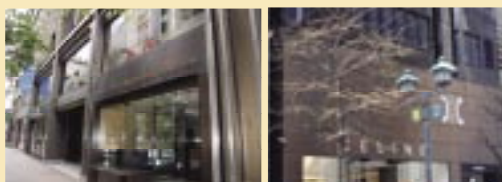
朝日新聞社跡地に建てられた啄木句碑



ビル入り口のノスタルジックな銅製郵便受け



ショップフロントを楽しく、優雅に――



デザインの異なる街路灯がそれぞれの通りを演出



店頭で見事に主張するスタンドサイン

